

2液水性ハイブリッド無機樹脂塗料

シルビアセラティーンN シルビアセラティーンN遮熱

【初版】

COLOR SAMPLE

シルビアシリーズの最高級グレード——。

卓越した低汚染性、長期耐久性、遮熱性で
汚れにくい外観と快適な室内を実現する
外壁用塗料です。



「シルビアセラティーN」は光触媒をターゲットに開発した外壁用塗料です。塗装後、短時間で光触媒と同等レベルの低汚染性を発揮します。光触媒は太陽光中の紫外線で光触媒活性が発現しますが、「シルビアセラティーN」は太陽光があたらない環境でも卓越した低汚染性を発揮し、長期間にわたり美観を維持します。また、光触媒と比較して高光沢で、塗装回数が少なく、コストパフォーマンスに優れるなどの特長があります。さらに「シルビアセラティーN遮熱」もラインアップ。壁面からの熱の侵入を遮り、快適な室内空間を実現します。



特長

1 卓越した低汚染性で、長期間美観を維持します。

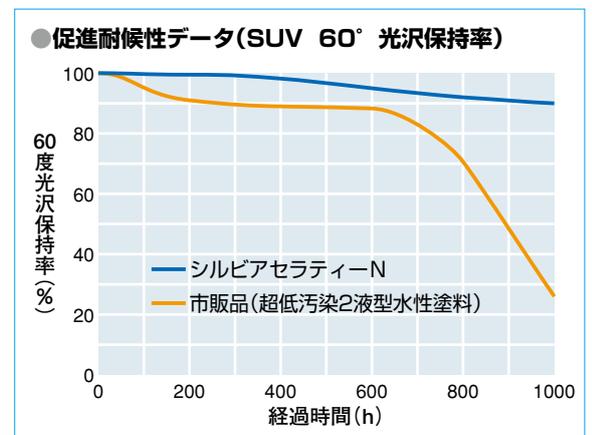
シルビアセラティーNは、シリコンの緻密化による「防汚性」と、シリコンの親水化による「セルフクリーニング性」のダブル効果により、従来の低汚染エナメル塗料では成しえなかった光触媒同等レベルの美観の維持が期待できます。また、その低汚染性能が標準塗装工程3回で発揮できるため、光触媒と比較して工期短縮も可能という特長を兼ね備えています。

●シルビアセラティーと他の塗料の性能比較

	シルビアセラティーN	光触媒塗料	市販品の低汚染性塗料
汚れ防止	◎	◎	○
塗装回数	3回	4~5回	3回
コストパフォーマンス	○	×	○
環境浄化 (NOx除去など)	なし	あり	なし

2 高耐候性で壁面の劣化を防ぎます。

シルビアセラティーNは熱や紫外線に対して安定な無機系樹脂を採用しております。塗膜性能としては耐候形1種をはるかに超えるレベルです。

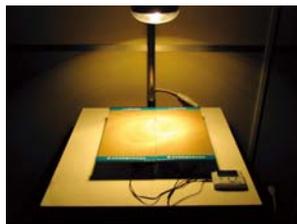


3 遮熱性で省エネに貢献します。

シルビアセラティーN遮熱は日射反射率の高い顔料を採用しています。シルビアセラティーNと比較するとシルビアセラティーN遮熱はスレート裏面の温度上昇を大幅に抑制します。

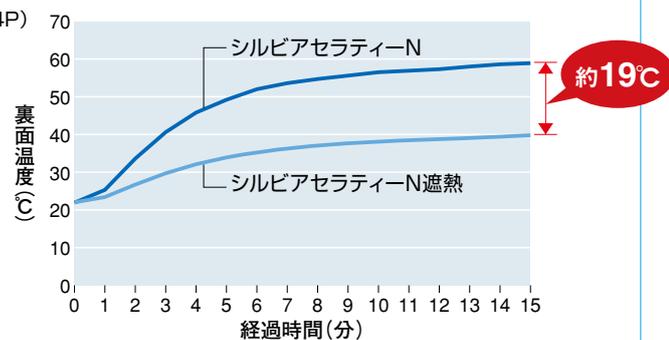
※色相によって裏面温度差は異なります。

●ランプ照射試験結果 (色相:R-834P)



- スレート板：15cm×30cm
- ランプと試験板距離：15cm
- 色相：R-834P

●ご注意：基準色より既存塗膜が淡彩系の場合、遮熱（温度低減）効果が得られないケースもございますのでご注意ください。詳細は最寄りの営業所にご確認ください。



シルビアセラティーN遮熱

標準色

- この色見本は紙に塗装しておりますので、実際の仕上がり外観とは多少の色違いなどが生じる場合があります。ご了承ください。
- 標準色は6色限定とさせていただきます。特注色などの調色対応はしておりませんので、ご了承ください。



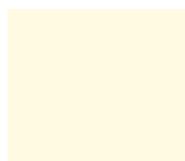
▲R-819P



▲R-822P



▲R-834P



▲R-840P



▲R-841P

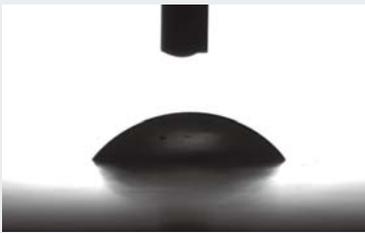
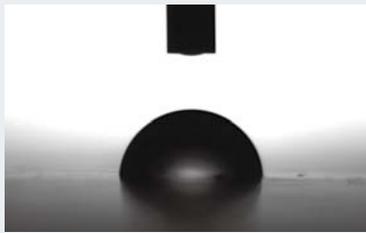


▲R-845P

●本色見本帳のPDF版をカラー出力された場合、この色見本帳に掲載しています標準色とは、著しく色の相違があります。PDF版のカラー出力やパソコンのモニターをご覧になってのご注文は受けできません。標準色の指定、選定、ご注文は必ず現物の色見本帳をお願いします。

塗装後、短時間で塗膜を親水化させることに成功し、
 抜群の低汚染性能を実現しました。

シルビアセラティー-Nの各種低汚染性試験

試験項目	シルビアセラティー-N	市販品（超高耐候超低汚染塗料）
水接触角 ※1 (養生7日)		
屋外曝露試験 (南面・45度、3ヶ月)	$\Delta L = -1.8$	$\Delta L = -6.9$
促進汚染試験 ※2	 $\Delta L = -0.6$	 $\Delta L = -15.7$
雨だれ汚染試験 (3ヶ月)		

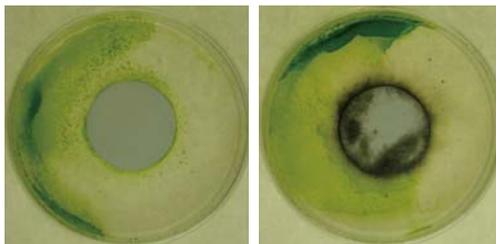
※1：水接触角……塗膜表面に水滴を添加した時のぬれ性を評価しました。シルビアセラティー-Nは水とのぬれ性が良いため、良好なセルフクリーニング効果を発揮します。

※2：促進汚染性試験……塗膜表面に汚れとして見立てたカーボン液を塗布し、焼付けと洗浄を実施。試験前後の明度差 ΔL を評価しました(試験方法：土木用汚染材料1種試験方法に準拠)。シルビアセラティー-Nは土木用防汚材料1種に相当する高い防汚性能を有します。

4 藻やかびの発生を抑えます。

優れた防藻、防かび性をもつ特殊薬剤を配合し、市販品は試験面に藻やかびが生育しているのに対し、シルビアセラティー-Nでは藻やかびの生育は認められません。

●防藻試験

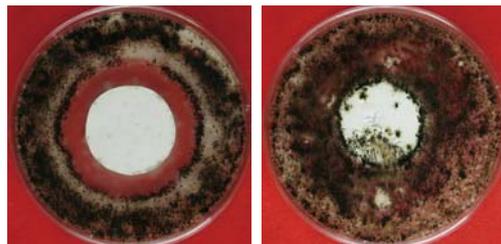


▲シルビアセラティー-N

▲市販品
(水性アクリルシリコン塗料)

●防藻試験:シルビアセラティー-N/市販品(アクリルシリコン塗料)をそれぞれ塗布したろ紙を藻水溶液に浸漬し、4週間後に藻の生育状況を目視比較しました。

●防かび試験



▲シルビアセラティー-N

▲市販品
(水性アクリルシリコン塗料)

●防かび試験:シルビアセラティー-N/市販品(アクリルシリコン塗料)をそれぞれ塗布したろ紙を菌水溶液に浸漬し、4週間後にカビの生育状況を目視比較しました(JIS Z 2911の塗料試験に準拠)。

5 高光沢の美しい仕上がりを得られます。

シルビアセラティー-Nは光触媒同等のセルフクリーニング性を持ちながら、一般塗料と同じ塗装工程で従来の水性塗料では得られなかった溶剤系塗料と同等の高光沢を有します。

6 環境対応塗料のため安全です。

オール水系の塗装系で環境に配慮するとともに、低臭設計となっています。標準仕様は下塗から上塗までオール水系で構成。環境および安全性にも配慮しています。

7 安心の責任施工システムです。

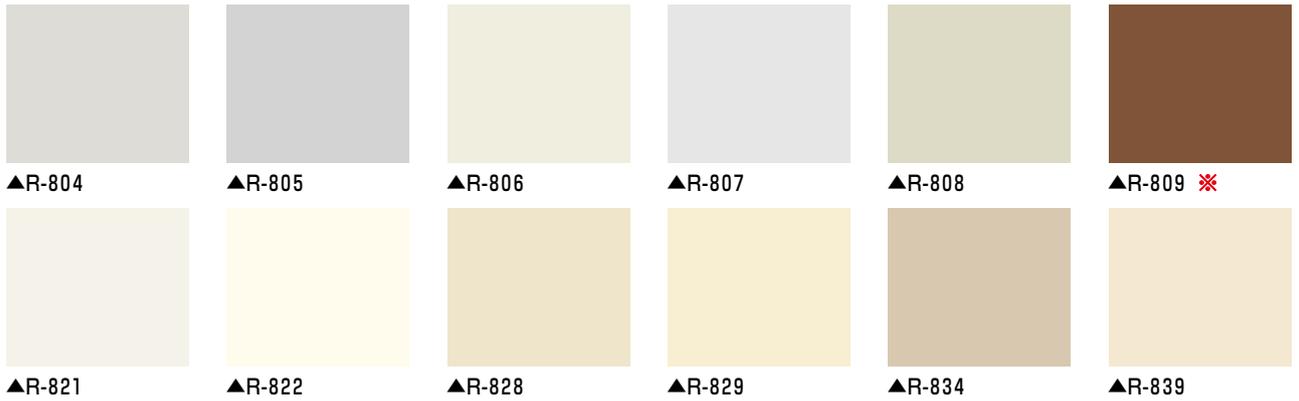
当社と施工代理店が協力して、全国各地に「ニットク・アメニティシステム会」を組織しています。会員は当社が施工指導を行ない、安心して任せられる施工認定を受けた専門の工事店。高い技術で責任施工します。ニットク・アメニティシステム会は材料や工法なども含め、これらの業務をトータルに管理・推進し、優れた外壁施工をお届けします。



シルビアセラティーンN

標準色

●この色見本は紙に塗装しておりますので、実際の仕上がり外観とは多少の色違いなどが生じる場合があります。ご了承ください。
●※印のR-809およびR-810の2色は濃色につき、割高(2~3割程度)となります。



標準塗装仕様

※記載の仕様は標準塗装仕様です。塗装環境や塗装条件により、施工間隔などが変化します。

工法名		工程数	①	②	③	④
水性プライマー工法 標準仕様		●	●シルビアセラティーン水性プライマー 使用量0.1~0.15kg/m ²	—	—	●シルビアセラティーン中塗 使用量0.12~0.15kg/m ²
水性プライマー工法 遮熱仕様		●	●シルビアセラティーン水性プライマー 使用量0.1~0.15kg/m ²	—	—	●シルビアセラティーン遮熱中塗 使用量0.12~0.15kg/m ²
シルビアサーフ ウールローラー工法 標準仕様		—	—	●シルビアサーフ 使用量0.3~0.5kg/m ²	—	●シルビアセラティーン中塗 使用量0.12~0.15kg/m ²
シルビアサーフ ウールローラー工法 遮熱仕様		—	—	●シルビアサーフ 使用量0.3~0.5kg/m ²	—	●シルビアセラティーン遮熱中塗 使用量0.12~0.15kg/m ²
シルビアサーフ大波工法 標準仕様		—	—	●シルビアサーフ 使用量0.8~1.5kg/m ²	—	●シルビアセラティーン中塗 使用量0.12~0.15kg/m ²
シルビアサーフ大波工法 遮熱仕様		—	—	●シルビアサーフ 使用量0.8~1.5kg/m ²	—	●シルビアセラティーン遮熱中塗 使用量0.12~0.15kg/m ²
NTダンネツベース大波工法 遮熱仕様		—	—	●NTダンネツベース 使用量0.5~1.0kg/m ²	—	●シルビアセラティーン遮熱中塗 使用量0.12~0.15kg/m ²
NTダンネツベース+ NTダンネツコート大波工法 遮熱仕様		—	—	●NTダンネツベース 使用量0.5~1.0kg/m ²	●NTダンネツコート 使用量0.6~0.8kg/m ²	●シルビアセラティーン遮熱中塗 使用量0.12~0.15kg/m ²
NTダンネツコート W断熱大波工法 遮熱仕様		●	●シルビアセラティーン水性プライマー 使用量0.1~0.15kg/m ²	●NTダンネツコート 使用量0.6~0.8kg/m ²	●NTダンネツコート 使用量0.6~0.8kg/m ²	●シルビアセラティーン遮熱中塗 使用量0.12~0.15kg/m ²
鉄部 改修 仕様	エポラ#2プライマー工法 標準仕様	●	●エポラ#2プライマー 使用量0.13~0.16kg/m ²	—	—	●シルビアセラティーン中塗 使用量0.12~0.15kg/m ²
	エポラ#2 遮熱プライマー工法 遮熱仕様	●	●エポラ#2遮熱プライマー 使用量0.13~0.16kg/m ²	—	—	●シルビアセラティーン遮熱中塗 使用量0.12~0.15kg/m ²
施工方法		●	●中毛ローラー ●刷毛 ●スプレー	●砂骨ローラー ●刷毛 ●中毛ローラー ※ウールローラー仕様のみ	●砂骨ローラー ●刷毛	●ローラー ●刷毛 ●スプレー
施工間隔(23℃)		●	●シルビアセラティーン水性プライマー 1時間以上72時間以内 ●エポラ#2プライマー、 エポラ#2遮熱プライマー 12時間以上72時間以内	●シルビアサーフ……16時間以上72時間以内 ●NTダンネツベース……16時間以上72時間以内 ●NTダンネツコート……2時間以上72時間以内	—	2時間以上72時間以内

※非鉄金属部は「エポラ#3プライマー」をご使用ください。

● 本見え本帳のPDF版をカラー出力された場合、この見え本帳に掲載しています標準色とは、著しく色の相違があります。PDF版のカラー出力やパソコンのモニターをご覧になってのご注文はお受けできません。標準色の指定、選定、ご注文は必ず現物の見え本帳をお願いします。



用途

- コンクリート・モルタル・金属面の塗装
- 複層仕上塗材のトップコート
- スレート板、窯業系サイディングボード、無機ボードなどの塗装
- PC板・コンクリートパネルなどの塗装
- 改修工事のトップコート

荷姿・希釈量・希釈剤・可使時間

製品名	荷姿	希釈量	希釈剤	可使時間
シルビアセラティール水性プライマー	15kg	無希釈	—	—
エボラ#2プライマー(赤サビ、白)	16kgセット { A液: 14.4kg B液: 1.6kg }	●ローラー、刷毛…0~1kg ●スプレー …… 0~2kg	塗料用シンナーA	6時間以内(23℃)
エボラ#2遮熱プライマー(淡ブルー)	16kgセット { A液: 14.4kg B液: 1.6kg }	●ローラー、刷毛…1~2kg ●スプレー …… 1~3kg	シルビアEシンナー	6時間以内(23℃)
シルビアEプライマー(白)	16kgセット { A液: 14.4kg B液: 1.6kg }	●ローラー、刷毛…1~2kg ●スプレー …… 1~3kg	シルビアEシンナー	6時間以内(23℃)
シルビアサーフ	16kg	●砂骨ローラー…0~0.5kg ●中毛ローラー…0.5~1.6kg	清水	—
NTダンネツベース	12kg	●砂骨ローラー…0~0.36kg	清水	—
NTダンネツコート	10kg	●砂骨ローラー…0~0.3kg	清水	—
シルビアセラティール中塗	16kg, 4kg	●ローラー、刷毛…0~1kg ●スプレー …… 0~2kg	清水	—
シルビアセラティール遮熱中塗	16kg, 4kg	※16kgに対するの希釈量	清水	—
シルビアセラティールN上塗	15kgセット { A液: 14kg B液: 1kg } 3.75kgセット { A液: 3.5kg B液: 0.25kg }	●ローラー、刷毛…0~1kg ●スプレー …… 0~1.5kg	清水	●30℃以上 2時間以内 ●15~30℃ 3時間以内
シルビアセラティールN遮熱上塗	15kgセット { A液: 14kg B液: 1kg } 3.75kgセット { A液: 3.5kg B液: 0.25kg }	●ローラー、刷毛…0~1kg ●スプレー …… 0~1.5kg ※15kgセットに対するの希釈量	清水	●5~15℃ 5時間以内

※夏場は、暑さで可使時間が短くなり「2時間」程度になります。
夏場はA液とB液の攪拌後、必ず「2時間」以内に使い切るようにしてください。

■施工上の注意点

【素地調整について】

- 粗面やALC面、多孔質下地など、下地に問題がある場合は「NTカチオンシリース」などを使用し、素地調整を行ってください。その後は「シルビアセラティーン水性プライマー」を塗布してください。
- 風化面、吸い込みの多い下地の場合は再度、プライマーを増し塗りしてください。
- 既存塗膜の劣化状況によっては、別途プライマーや目粗しが必要になります。
- 素地の状態は表面含水率10%以下(ケツ科学社製CH-2型)または5%以下(ケツ科学社製HI500シリーズ:コンクリートレンジ)の条件で塗装してください。
- 表面のチョーキング、こみ、ほこり、かび類、藻類、レイタンスなどは除去し、目違い、ジャンカ、コールドジョイントなどは適切な下地処理を行ってください。
- 高圧水洗機が使用できない場合はホースで水を流しながらブラシなどを使用し、こみやほこり、かび類、藻類を完全に除去してください。著しくかびや藻の発生しやすい環境下では、防かび、防藻効果が十分に発揮されない場合があります。
- 高圧水洗機やスプレー塗装の際は、施工中のミスト飛散防止の養生を充分に行ってください。
- 赤錆、白錆、緑青など、錆の汚れには効果がありません。錆が発生している場合はワイヤーブラシ、サンドペーパーなどで除去し、金属用のプライマーを施工してください。
- 油分が付着している場合は中性洗剤などを使用し、除去してください。
- 下塗りパターンが必要な場合は、シルビアサーフまたはNTダンネツベースを使用してください。ハイブルーフやNT弾性コートなどの高弾性タイプの塗料は、塗膜の割れを引き起こしますので使用しないでください。
- 塗り替え塗装で既存塗膜が2液溶剤系フッ素樹脂塗料、2液溶剤系シリコン樹脂塗料、弾性スタッコ、弾性リジン、アクリルトップの場合、既存塗膜がすでに剥れている、また既存塗膜の表面にピンホール(細かな気泡)が生じている場合があります。その上に塗装しますと剥れがさらに大きくなる可能性がありますので、上記の場合は既存塗膜を完全に除去してください(とくに部材が軽量モルタル、ALCパネル、窯業系サイディング、発砲ウレタンなどを使用した断熱工法の外壁の場合は注意が必要です)。既存塗膜面を剥離した箇所は、なるべく既存塗膜と同一種類の塗料を用い、パターンの復旧を行ってください。また「高断熱型外壁」に塗装する場合は、蓄熱、水分、下地の状況、塗装環境など複数の条件が重なることで、建材の変形、塗膜の膨れ、剥離が生じることがあります。

【塗料と塗装について】

- 仕様書に書かれている数値は標準的なものであり、素地の状態や形状、施工条件、気象条件などにより、多少の幅が生じることがあります。

- 使用後は塗装器具メーカーの指示に従い、適切な洗浄および保管をしてください。
- 夏季、炎天下でエアレスホース内に塗料を入れたまま放置しますと、つまりの原因となります。
- 外壁表面を水洗いした後や雨、露、霜で濡れている場合は十分に乾燥させてから塗装してください。
- 降雨、降雪が予測される場合や気温が5℃以下、湿度80%以上での塗装は避けてください。
- 塗膜が十分に乾燥しないときに降雨や結露などによる水分の影響を受けた場合、塗膜表面の白化や割れ、シミ、低汚染機能の喪失などが発生する可能性がありますので水分の影響を受ける場合は施工しないでください。また、乾燥までの時間を考慮して作業を実施してください。
- 材料の保管は直射日光を避け、雨露のあたらない冷暗所に保管してください。
- シルビアセラティーンN上塗りおよび同遮熱上塗りB液は、水分などにより劣化します。開封後はなるべく早く使い切ってください。また、一時保管する場合は必ず密栓してください。
- 希釈率は試験施工などにより決定し、同一条件で施工してください。ただし、希釈量は材料温度、色、施工条件、施工方法により変化しますので事前に試し塗りを行ってください。
- 塗装間隔や塗布量、希釈量は必ず守ってください。長期の耐久性に影響があります。とくに、シルビアセラティーンN上塗りは過剰希釈するとハジキ、光沢低下、外観不良などの原因になります。希釈量を厳守し塗装を行ってください。また、塗料が濃色の場合、色相によっては標準の塗り回数では隠れない場合があります。その場合は塗り回数を増やしてください。
- シルビアセラティーンN上塗りおよび同遮熱上塗り2液反応硬化型塗料です。A液とB液を指定の比率で混合し、電動ミキサーで均一に攪拌してから使用してください。A液とB液の混合比率が不適切であったり、指定以外の塗料を混合したり、攪拌が不十分であった場合、本来の塗膜性能が得られませんので、これを厳守してください。また、一度混合した塗料は必ず可使時間内に使い切るようにしてください。
- シルビアセラティーン中塗りおよび同遮熱中塗りは、シルビアセラティーンN上塗りおよび同遮熱上塗りと同じ色を使用するため、上塗りの塗残しがないよう、施工には充分注意してください。またタッチアップには中塗りを使用せず、必ず上塗りを使用してください。タッチアップを中塗りで行ないますと汚染の原因につながります。
- 補修塗りを行なう場合は、使用塗料のロット、希釈量、塗装方法などの条件を同一にしてください。また塗装方法が混在する場合、塗布量、表面肌が異なることで若干の色相差や光沢差が生じることがあります。ローラー塗りと刷毛塗りが混在する場合は同一希釈量で行ない、補修塗りは最小範囲で行なってください。またローラー塗

- りの場合は、ローラーの目により仕上がりが色相が異なって見えることがありますので、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください(目立ちにくくなるように塗装してください)。
- 塗装後、塗膜が乾燥するまでに養生テープを剥がしてください。塗膜乾燥後に養生テープを剥がす場合はカッターナイフなどを用いて取り外してください。
- 可塑性が多く含まれる塩ビ珪鋼板、塩ビラミネート、プラスチック、ゴムパッキン、合成皮革、塩ビクロスなどへの直接塗装は避けてください。また、これらの部位に塗料が直接触れないようにしてください。
- 建物の入隅部などに塗料が溜りやすくと収縮割れを起こす可能性がありますので、均一に塗装してください。
- シーリング材の劣化などがある場合には打ち替えを行ってください。
- シーリング面への塗装は塗膜の汚染や剥離、収縮割れが発生する場合がありますので極力行なわないでください。やむを得ず使用する場合はシーリング材が完全硬化した後に、シルビアEプライマーを下塗りすることで不具合の軽減ははかれますが、それでも、シーリング材の種類、使用条件などにより、不具合が起こることがあります。
- 目地幅、隙間幅が大きい場合や建物やボードの動きの激しい部位のシーリング部への塗装は塗膜が割れる場合がありますので避けてください。
- シーリング材が使用されている部位周辺は、シーリング材から溶出する可塑性やシリコンオイルなどの付着により、充分な低汚染性が発揮されない場合があります。
- 塗装色より既存塗膜の色が薄い場合、遮熱(温度低減)効果が得られないケースもありますのでご注意ください。また、色相により遮熱効果が変わります。
- NTダンネツベースおよびNTダンネツコートは冬季および高湿度状態では塗膜の乾燥が極端に遅くなり、降雨や結露などによって塗膜表面に白化などの異常を引き起こす可能性があります。このため、乾燥までの降雨や結露などの水分の影響を考慮して施工してください。また、NTダンネツベースおよびNTダンネツコートの塗膜内部の乾燥不足状態でお塗り施工した場合、降雨や結露などで膨れなどの不具合が発生する可能性があります。NTダンネツベースおよびNTダンネツコートの乾燥を確認して上塗り塗装を行ってください。
- 大気中の浮遊鉄成分の多い地域では、この鉄成分が塗膜表面に付着し塗膜が赤褐色に変色したように見える場合があります。
- 傾斜壁の下端部、笠木などで水切りのない部位、排気口周辺など、局所的に汚れの負荷が大きい場合は、低汚染性が充分に発揮されない場合があります。
- 排気ダクトから出る油などの有機物、車の排気ガス、工場のばい煙などに含まれる粉塵などには、セルフクリーニング効果が発揮されない場合があります。

「シルビアセラティーンN」「シルビアセラティーンN遮熱」取り扱い上の注意事項

(よく読んでご使用ください)

- 火気のあるところでは、絶対に使用しないでください。
- 万一、火災が発生した場合は炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。水は使用しないでください。
- 施工中、乾燥中ともに換気を充分に行ない、ミストや蒸気を吸い込まないようにしてください。
- 取り扱い中は、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスク、手袋および前掛けなどの保護具を着用してください。
- 取り扱い作業中、容器からこぼれないよう注意してください。こぼれた場合は、直ちに布やウエスで拭き取るか、砂などを散布したのち処理してください。
- 材料の付着した布やウエスなどは自然発火や引火の危険性があるため、廃棄するまで水につけておいてください。
- 容器はつり上げないでください。止むを得ずつり上げるときには、適切なつり具で垂直に持ち上げ、落下に充分注意してください(偏荷重になると取っ手が外れ、落下する危険性があります)。
- 取り扱い後は手洗いおよびうがいを充分に行なってください。
- 目に入った場合は多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合は、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 材料が皮膚に付着し、痛みや外観変化があるときは医師の診察を受けてください。
- 蒸気やガスを吸い込んで気分が悪くなった場合は、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 保管は必ずフタをし、直射日光の当たらない場所に保管してください。
- 子供の手の届かないところに保管してください。
- 中身を使いきってから廃棄してください。また、廃液・汚泥などは関係法規に基づき、自社で適正に処理するか、産業廃棄物処理業者に委託して処理してください。
- 標準色以外をご指定された場合、褪色が早い場合や、塗膜性能低下が発生する可能性があります。
- 本製品は環境を配慮した材料を用いていますが、ご採用頂いたすべての人の健康状態を保証するものではありません。
- 詳細な内容が必要な場合は警告ラベル、または安全データシート(SDS)をご参照ください。

*製品改良のため、仕様などを予告なしに変更することもあります。ご了承ください。

【その他、ご不明な点がございましたら、最寄りの営業所へお問い合わせください】

日本特殊塗料株式会社

■お問い合わせ先

東京営業所 〒114-8584 東京都北区王子5-16-7
 平塚営業所 〒254-8503 神奈川県平塚市長瀬1-10
 名古屋営業所 〒472-0006 愛知県知立市山町東並木北12
 大阪営業所 〒565-0853 大阪府吹田市春日1-4-12
 広島営業所 〒739-0025 広島県東広島市西条中央4-3-13
 福岡営業所 〒849-0112 佐賀県三養基郡みやき町江口4726

☎(03)3913-6203 FAX(03)3913-6323
 ☎(0463)23-2135 FAX(0463)23-3739
 ☎(0566)81-8111 FAX(0566)81-8124
 ☎(06)6386-8492 FAX(06)6338-3560
 ☎(082)423-8231 FAX(082)423-8256
 ☎(0942)89-5766 FAX(0942)89-5762

■代理店

●日本特殊塗料ホームページ <http://www.nttoryo.co.jp/>